

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22%	44%	22%	・素人的にもキャパシティオーバーの感が ・定員になるとやや狭いかと思えます。ロッカーも増やしたいです
	2	職員の配置数は適切であるか	22%	56%	11%	・スタッフが多い割にあたふた
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11%	44%	33%	・フロアはフラットですが、アプローチが階段 ・3階までの階段は、低学年には少しきつそうです
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	33%	33%	22%	・スタッフが広く参画しているとは言い難い
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	56%	33%	0%	・モニタリングファイルで学習できるし情報を得られる
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	56%	22%	11%	・個人的には関知していないが知りたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	56%	22%	・外部評価の情報を全く告知されていない ・不明
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	44%	44%	0%	・過去3回本部主催で思いやり研修受講 ・発達障がいに関する研修はありますでしょうか？
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	78%	11%	0%	・職制の指示に従って職務遂行
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33%	56%	0%	・とことこ教室のルールに沿っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	11%	11%	・スタッフ(常勤)で行っている様子
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	22%	0%	・提案しているつもり
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	44%	44%	0%	・職制に従っている
	14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	0%	0%	・マニュアルに沿った指導中
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	56%	33%	0%	・指示に従って分相応の役割を実践
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	44%	44%	0%	・些細なことでも必ず報告し共有
	17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	22%	0%	・上司に報告している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	56%	33%	0%	・モニタリングファイルで情報を得ている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	22%	67%	0%	・十分に承知してなくて ・ガイドラインの見直しが必要
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	22%	56%	11%	・よく分からない ・不明
	21	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子 どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対 応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	11%	11%	・時折添乗しているが適切だと思う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11%	67%	11%	・よく分からない ・今まではしなかった ・不明
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相 互理解に努めているか	22%	56%	11%	・よく分からない ・不明
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまで の支援内容等の情報を提供する等しているか	11%	67%	11%	・よく分からない ・今のところ卒業した子がいない ・不明
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	67%	22%	・深く関係していないのでわからない ・センターとも連携していきたい ・不明
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか	11%	44%	33%	・コロナのため、なかなか交流は難しかったが、今後し ていきたい ・以前はあったと伺いました
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している か	0%	56%	33%	・誘いなし ・不明
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っている か	78%	11%	0%	・気づきは些細なことでも上司に伝えている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行って いるか	11%	67%	11%	・関知していない
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	44%	44%	0%	・上司が行っていると思う
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っているか	56%	22%	11%	・お会いした時は伝えている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催 する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	33%	44%	・自分の立場では介入せず ・コロナのため
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦 情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	22%	0%	・上司がしているだろうと推測
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し ているか	44%	33%	11%	・月間のスケジュール表がある
	35	個人情報に十分注意しているか	78%	11%	0%	・ルールとして基本的に順守している

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	22%	0%	・折に触れて、お会いした時に伝えている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11%	33%	44%	・自身の立場では不理解 ・コロナのため ・コロナのため、できておらず
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	22%	67%	0%	・初期に書類を書いた記憶あり
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	11%	0%	・定期的に避難訓練実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11%	78%	0%	・研修会の話を耳にしたことはなし ・都度話し合っている ・まだ受けていないため(本部でお話はありました)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	22%	56%	11%	・関知していない ・不明
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	44%	44%	0%	・おやつに配慮されている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	44%	33%	11%	・事例集の存在を知らない

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%	20%	0%	人数が多い日はもしかしたら動きづらいこともあるかも？ 小学生と中高生の活動場所を分けてもらえたら良いと思う
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	70%	30%	0%	全体の配置については把握していないため
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	45%	45%	10%	よく見ていないので分からないです
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	95%	5%	0%	苦手な事を伝え、それに沿ってやって頂いていて、子供の成長が感じられます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	85%	10%	5%	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	45%	35%	今はコロナ渦で、ふれあいが少し少ないと思います。コロナなので、なかなか交流の機会が無いです。必要ないと考えています。
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	90%	10%	0%	子供の事をよく見て頂いています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%	10%	0%	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30%	45%	25%	コロナ渦のため参加を見送りました。 コロナ禍のためかと思えます
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	30%	0%	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90%	10%	0%	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	85%	15%	0%	
非常時等 の対応	14	個人情報に十分注意しているか	85%	15%	0%	
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	65%	35%	0%	
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	20%	0%	
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	85%	15%	0%	
	18	事業所の支援に満足しているか	90%	10%	0%	学校の長期休みの時に、朝早くから時間外で預かっていただけると助かる

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

職員による自己評価

A環境面

遊びスペース、勉強スペースを分けたことで流れがスムーズになった。

B児童への支援内容

チャレンジタイム導入により職員全員が計画書をしっかりと把握できるようになった。

C関係機関との連携

コロナ禍であまりできなかった。
送迎の際にコミュニケーションを大切にしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

コロナ禍で集まる機会が少ないので送迎時のコミュニケーションを大切にしている。

E非常対応

避難訓練を支援に入れ、年に2回は実施している。

保護者による評価

A環境面

人数が多い日は動きづらそう。
小・中高生で活動場所を分けて欲しい。

B児童への支援内容

計画書に沿って支援がされている。
コロナ禍でなかなか触れ合いの場がなかった。

C事業所からの情報発信

子どもの事を良く見てくれる。
コロナが落ち着いたら保護者同士の関りが欲しい。

D非常対応

避難訓練が行われている。
長期休暇に時間外預かりがあると良い。

事業所内での分析

【共通点】

支援の取り組みについて評価して頂いている。

【相違点】

長期休暇の時間外預かりについて。

教室内のスペースの使い方について。

分析・検討してみて…

事業所の強み

チャレンジタイム導入により計画書がより明確になった。

様々なプログラムを導入している

週ごとのテーマに沿った集団活動の取り組みを行っている。

事業所の改善点

お知らせ等は早めの手紙でお伝えをする。

職員間の情報共有をしっかりと行ええる様にミーティングを増やす。

事業所の改善への取り組み

事業所内ミーティングを増やし、情報共有をはかっています。

変更、お知らせ等あった場合は早めにお手紙を出しご案内いたします。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナ禍出集まる機会が無かったので、アンケートで色々なご意見を頂けて良かったです。

事業所名

とこと弘明寺教室

担当者

服部 麻希